けいはんな情報通信オープンラボ
研究推進協議会
理事長
井植　敏

ご挨拶

けいはんな情報通信オープンラボは産学官連携によるＩＴ研究開発の実施に向け、２００３年６月に現在の(独)情報通信研究機構（NICT）知識創成コミュニケーション研究センターにおいて開所いたしました。

当協議会は、本オープンラボを有効に活用し、ネットワークの高機能化、人間中心のコミュニケーションなど、ＩＴに関し実効的な産学官連携の構築、技術の育成、研究推進等を図るため、関西の産学官が一体となって設立した協議会です。

これまで、海外ベンダーとの複数キャリア間ネットワーク相互接続実験の成功やユビキタスホームにおける快適で安心して暮らせるためのサービス評価及び行動データ収集、また特区を活用した公道でのネットワークロボット実証実験の実施など、多くの成果が生まれつつあります。

今後は、これらの生み出された新技術を新たな産業創出に展開するとともに、利用者にとって一層の利便性・快適性を実感できるＩＴ社会の実現に向けた技術開発を行っていくことが重要です。

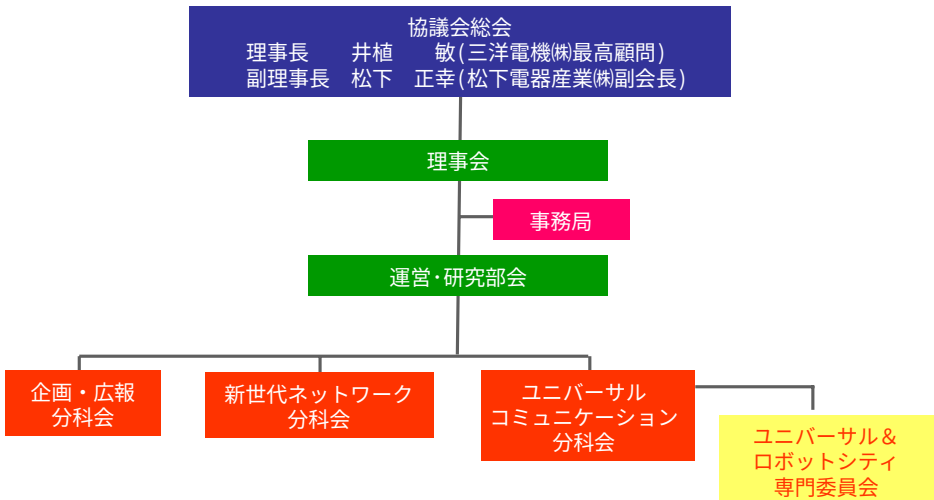
このオープンラボでの成果が産学官連携のより良いモデルとなり、世界のデファクトスタンダードに育ち、合わせて国民生活を豊かにする技術開発の世界的な拠点に発展するよう共に努力して参りたいと存じます。

本協議会へのご理解とご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会について

当協議会では、本オープンラボを有効に活用し、ネットワークの高機能化やユニバーサルコミュケーション、ユビキタスネットワーク技術とロボット技術を融合したネットワークロボットなど、ＩＴに関し実効的な産学官連携を構築し、新たなサービスや産業の創出を目指すとともに、専門家の育成を併せた人材の育成にも寄与してまいります。

体 制 図



活動概要

オープンラボシンポジウムin東京 (H17.11)

ロボット公道走行実証実験 (H17.11)

ﾈｯﾄﾜｰｸﾛﾎﾞｯﾄ実証実験記念シンポジウム (H17.11)

第５回総会 (H18.5)

「産学官連携功労者表彰」総務大臣賞受賞 (H18.6)

■新世代ネットワーク分科会

新世代ネットワーク技術に関しネットワーク運用上の課題を解決するため、各レイヤにまたがるネットワーク関連技術の研究開発を推進し、日本発の技術を創出し、国際標準に提案し、我が国の国際競争力の確保を目指す。

- ●光ネットワークに関しグローバルな相互接続性検証を実施。GMPLSプロトコルの先導的実装と国際標準化。
- ●幹線からアクセスまで光領域で情報伝達機能を行うフォトニックネットワーク技術について各種連携実験を実施。先端的光通信要素技術の開発。
- ●各種ネットワークの相互接続性の検証。グリッド応用／超広帯域アプリケーションのためのネットワ-ク基盤の開発。

■ユニバーサルコミュニケーション分科会

ネットワークを意識せず、言語や文化等の壁を越え、高度に利用できる生活環境を実現するユニバーサルコミュニケーション技術の研究開発を推進し、日本発の技術を創出し、国際標準に提案し、我が国の国際競争力の確保を目指す。

- ●NICTの持つ豊富な言語資源と高度な言語処理を利用した、知識獲得・情報検索・質問応答・翻訳（支援）などの機能を持つ総合的な言語コミュニケーションシステムの研究開発。
- ●世の中に流通する映像、楽曲、書籍、辞書等から、信頼できる「知の情報」を取り出し、誰もが自在にコンテンツの創成･編集･流通等、多様かつ柔軟な利活用ができる生活環境の実現。

＜ユニバーサル＆ロボットシティ専門委員会＞

ユビキタスミニタウンの実現に向けた、ユビキタスホームにおける生活実験の継続、及びユニバーサルシティ実証実験を推進する。

- ●最先端のユビキタス／センサーネットワーク環境において、ネットワークロボット相互接続実験の実施。ネットワークロボット要素技術、周辺技術の研究開発。
- ●一般生活者と共生するコミュニケーションロボットの研究開発。一般生活者をロボットが支援できるシーンの網羅的検討と、生活者支援に必要なコミュニケーション技術の抽出。
- ●時間的・空間的制約を越えて、技能を伝え・再現する技能伝達ロボットの研究開発。
- ●ユビキタスホームを活用し、次世代ホームネットワークの実用化、普及促進、国際標準化に資する研究開発および実証実験。

■企画・広報分科会

利用者ニーズ集約の場として、新たなテーマの創造と研究環境の追求ラボの利用・成果活用促進を目指し下記活動を中心に行う。

- ●定期的な会員への研究ニーズ調査、内外の動向調査ならびにNICTからの提案に基づき新たな産学官連携研究開発テーマを検討
- ●定期的な各研究開発テーマ間の交流促進、シンポジウムや施設見学会等イベントの企画・実施による産官学連携促進、および都市産業振興や市民生活向上の観点からのアウトプット活用方策検討などの成果活用促進
- ●研究開発整備要望などの研究活動の推進

■表　彰

平成１７年度　「情報通信月間」総務大臣表彰（団体）受賞
平成１８年度　「情報通信月間」近畿総合通信局長表彰（個人）受賞
平成１８年度　「第４回産学官連携功労者表彰」総務大臣賞受賞

オープンラボの施設概要

けいはんな情報通信オープンラボは、産学官が連携した地域における情報通信分野の研究開発を推進し、かつ専門家の育成等を併せた人材の育成等にも寄与するために整備されたものです。

けいはんな情報通信オープンラボを利用できるプロジェクトは、独立行政法人情報通信研究機構法に規定する調査、研究及び開発に則したもので、産学官連携によるＩＴ研究開発を促進するものです。

●実験設備●

■ユビキタスホーム
情報家電と多種のセンサと、それらを接続するホームネットワークで構成される実生活型実証実験テストベッド

■ユビキタスミニタウン
建物ロビーから構内まで、センサ群が整備されたミニタウン用実験施設

■超高精細画像実験システム
８００万画素（ＨＤＴＶの４倍）の超高精細画像実験施設

■ＧＭＰＬＳ相互接続実験システム
ＧＭＰＬＳ（Generalized Multi-Protocol Label Switching ）の相互接続性を実験検証するテストベッド

■分散仮想ネットワーク開発実験システム
超高速ネットワークを、仮想的に或いは複数のシステムに構築できる実験施設

■ＯＴＮ対応キャリア間相互接続伝送システム
ＯＴＮ（Optical Transport Network)方式に関する伝送機器（複数キャリア）間の相互接続性を検証・テストするシステム

■ＪＧＮ２（研究開発テストベットネットワーク）
全国規模のネットワークと光テストベッドで構成され、けいはんなでは最大１０Gbpsで接続し、光テストベッドを有する。

オープンラボの利用形態

■共同研究型
NICTと共同研究契約を締結し施設を利用する形態

■施設利用型
NICTと共同研究契約を締結せず、施設のみを利用する形態
（長期利用： ４ヶ月以上継続、短期利用： ４ヶ月未満）

■一時利用型
既に施設の利用許可を受けた機関が、NICT以外の第三者との共同による施設利用を行う形態
（原則２週間以内）

入会のご案内

■入会費用　会費は１口５万円／年です。
大学、ベンチャー企業等、当協議会理事長が認める個人、団体は会費免除となる場合があります。
特定のプロジェクト等に参加される場合には、別途応分の負担が必要になる場合があります。

■入会方法
下記URLの入会案内をご覧いただき、お申し込み下さい。
http://www.khn-openlab.jp/kyogikai_admission.htm

事務局・問い合わせ先

■事務局　社団法人 関西経済連合会　　財団法人 関西文化学術研究都市推進機構
総務省 近畿総合通信局　　独立行政法人 情報通信研究機構

■お問合せ先　独立行政法人情報通信研究機構（NICT）
けいはんな情報通信オープンラボ
(住所) 〒619-0289 京都府相楽郡精華町光台3-5
(TEL) 0774-98-6806　(FAX) 0774-98-6955　(E-mail) kyogikai-info@khn.nict.go.jp

産・学・官の連携により

関西発の情報通信分野の世界標準を目指します

けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会

http://www.khn-openlab.jp/

民間のビジネス化
ノウハウ

ＮＩＣＴの
研究開発成果

大学等の
基礎研究の成果